ベ ルの の真 ： イスラ ムにおける女性の地位の真 （1/3）

5.0

明:

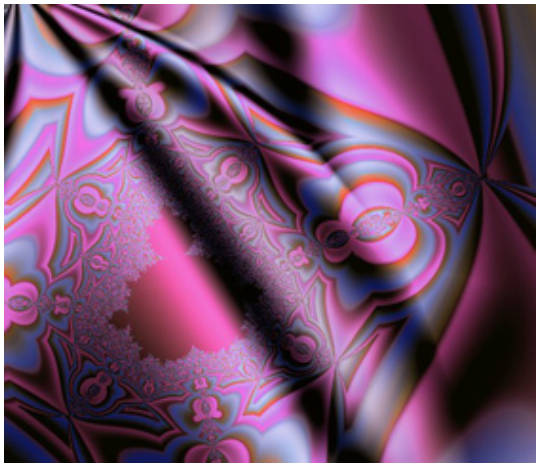
イスラ ムと、ユダヤ キリスト教の におけるベ ルとその意味、またイスラ ムにおける女性 について。第一部：ユダヤ教 キリスト教 イスラ ムにおけるベ ルの概念とは。

目: 事 代における女性

より: アブドッラフマ ン マハディ www.Quran.nu

日13 Oct 2014

集日 06 Nov 2016



イスラ ム的ベ ル、つまりヒジャ ブは、ムスリム女性の身体を覆う、ゆったりした派手ではない衣服のことを指します。それはキリスト教においてマリア（彼女と彼女の息子に平安あれ）が着ていたとされる 的衣服と基本的には同 のもので、修道女もそれにった格好をしているものの、ヒジャ ブは 端主 の象 として、またムスリム女性の社会的に低い地位を表すものとして取り沙汰されます。ムスリム女性を性的 象のみとしか ない者は、教 のある、または に就く「自由な」欧米女性たちがイスラ ムに改宗している事 に愕然とします。女性改宗者たちは「ベ ルで目 しされた」洗 被害者の狂信者である、または抑 されており自由になることを待ち望んでいるなどといった言いがかりはもはや通用しません。ただし、 代の 的社会における扇情的な人々や、政治的な を びた 告では、未だネガティブな固定概念だけが されています。では、イスラ ムとキリスト教

双方のベ ルの役割を比 することによって、イスラ ムにおける女性の地位について　に ていきましょう。

“??”
??????16:97?

以下からも られるように、「新　」の一部とされるようになる、女性によるベ ルの着用といった　をパウロは　付けました。

“女はだれでも祈ったり、 言したりする に、 に物をかぶらないなら、その を侮辱することになります。それは、 の毛をそり落としたのと同じだからです。女が に物をかぶらないなら、 の毛を切ってしまいなさい。女にとって の毛を切ったり、そり落としたりするのが ずかしいことなら、 に物をかぶるべきです。男は神の姿と 光を映す者ですから、 に物をかぶるべきではありません。しかし、女は男の 光を映す者です。というのは、男が女から出て来たのではなく、女が男から出て来たのだし、男が女のために造られたのではなく、女が男のために造られたのだからです[1]。だから、女は天使たちのために、 に力の印をかぶるべきです。”（第一コリント人11:5 10）

三位一体 を最初に体系的に提唱したテルトゥリアヌスは「 女へのベ ル」という著 において、それを家の中でも　付けています。“乙女よ、あなたがたは道端でベ ルをまとうのだから、教会でもそうしなさい。あなたがたは他人といるときにそれをまとうのだから、兄弟たちといるときもそうしなさい。”

イスラ ムはベ ルを　したのではなく、 に推 するに ぎません。パウロが男性の 力の象 としてもベ ルを利用したのとは 象的に、イスラ ムはそれが に信仰　　の象 であり、信仰ある人々を 性的虐待から守るものであると明 します。

“??”??????33:59?

19世 の 洋学者、リチャ ド バ トン卿はこう しています。

「彼女らの名誉に 献する制限を望む女性たちは（ベ ルを） んで 容し、 着感さえ抱いている。彼女らは女性らしい礼 や 配りといった概念とは矛盾する、独立、いや放埒というものを望んではいない。彼女らは情 のようにおおやけの目 に自分を露出させる夫についてひどい嫌 感を抱く。」

事 として、ムスリムのベ ルとは、女性の崇高な地位を表す一つの 面に ぎません。その地位とは、彼女に された多大な 任を反映するものです。一言で言えば、女性は正しい社会を作り上げるための最初の教 です。それゆえに、人に された最も重要な 人的 の中に、母 に する感 の念、 切さ、そして良き 遇があるのです。 言者ムハンマド（神の慈悲と祝福あれ）はこのような受け答えをしています。

***“??????????????

イスラ ムでは神は男性ではなく、男性（と女性）の 造主であると きます。また神は双方の性を高 な目的のもと 造さ
ます。“ジンと人 を ったのはわれに仕えさせるため。”（クルア ン51:56）

2

それゆえ、ムスリム男性は女性よりも多くの の相 が められています。彼は法的に一家の女性たちを皆、自分の富によ
扶 する があるものの、女性の富は女性 人のものであり、消 投 蓄などの使用目的を わず彼女の自由に使えるの

3

フランス人ノ ベル 受 者のアレクシス カレル博士はこの点に し、次のように述べてより 固なものとしています。「
在する相 とは、性器の形 子 の有 妊娠の不可 学 などから来るものではない。それらは身体全体に及ぶ、より根本的
。 それらの根本的事 への 知から、男女同 （フェミニズム）の推 者たちは双方の性 は同じ力と 任を持つべきで
でしまっているのである。事 として、女性は男性とは めて なる。彼女の身体のすべての 胞は、彼女の性 の特 を
。彼女の器官も同 であるが、とりわけ彼女の神 系ではそれが 著である。生理的法 は、人 の 望によって取って えら
なものではない。我々はそれをありのまま受け入れる必要があるのだ。女性は男性的な性 を模 しようとすることなく
らの性 に ってその素 を させていくべきなのである。」(Carrel, Man and the Unknown, 1949:91)

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/287

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。